



「手を挙げて、左右の確認」 港地区の園児による自動車教習所での交通安全教室

平成27年9月 市議会定例会

一般会計補正予算など19議案を可決

平塚市議会は、平成27年8月26日から9月18日まで、24日間の会期で9月定例会を開催しました。

今定例会では市長から21件の議案が提案され、このうち平成26年度の決算の認定に関する2件の議案を除く19議案を原案どおり可決しました。決算に係る議案については決算特別委員会を設置し、今定例会後の閉会中に継続して審査することとしました。

また、議員から市議会の会議規則を改正する会議案が提案され、原案どおり可決しました。

今定例会の主な議案

◆小児医療費の助成対象を中学校卒業まで拡大

平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正し、平成28年4月から小児医療費の助成対象を現行の小学校6年生から中学校卒業までに拡大する議案が提案されました。この改正により、中学校1年生から3年生まで約5200人が新たに制度の対象となり、子育て世帯に対する経済的負担の軽減が図られます。中学校卒業までの医療費を助成するのは、県内の市では4番目となります。

小児医療費の助成対象の拡大は、子育て世代から選ばれるまちを目指して本市が力を入れている取り組みであり、市議会でもこれまでその是非や経費について議論してきました。質疑では、所得制限を設けた理由や小学生に比べて通院する頻度の少ない中学生に助成する意義などについて問われ、採決では賛成者多数で可決しました。

◆下水道事業に地方公営企業法を適用

平塚市下水道事業の設置等に関する条例を制定し、市の下水道事業に地方公営

企業の財務規定を適用する議案が提案されました。これにより精度の高い財務書類の作成が求められ、経営状況や資産を正確に把握できるため、経営管理の向上につながります。市の事業への公営企業会計の適用は、



解体中のメインスタンド

◆工事契約を締結
港地区の認定こども園や大神の余熱利用施設、消防署神田出張所の新設築、競輪場のメインスタンドの工

事の前定価格がそれぞれ1億7千万円を超えるため、議会の議決が求められました。採決では、全て原案どおり可決しました。

◆人事案件に同意

本市の行政委員を選任する2件の議案が提案され、各氏とも適任として同意しました。

- ・公平委員会委員 月本大洋氏(豊田小嶺)
- ・固定資産評価審査委員会委員 原澄江氏(八重咲町・再任)

一般会計補正予算 ツインシティ整備推進事業の補正予算4億4千万円を可決

今定例会では、一般会計補正予算に対して9億2461万円が計上されました。

このうち、ツインシティ大神地区土地区画整理事業への補助金として、4億4千万円が計上されました。内訳には、8月に土地区画整理組合の設立が認可されたことを受け、道路などの公共施設設備のための建物の移転補償費用や地盤改良の工事費用などが挙げられています。

これに対し、本会議や常任委員会では、補助金の使途の内訳や事業の進捗管理、道路などのインフラ整備、農業者の保護や緑地面積の確保など、多くの議員がさまざまな質疑を行いました。

また、事業と並行して行われる相模小学校の移転時期については、当初予定されていた平成30年4月の開校が延期になることが答弁されました。

◆主な補正予算
・28年1月から始まる個人番号カードの交付に関する経費 977万円

・緊急性の高い農道の整備や維持に関する費用 1353万円
・陸上競技の備品の更新と、総合公園内の施設の修繕や設計調査の費用 8015万円

主な内容

- 総括質問
2・3面 清風クラブ
野崎審也議員
片倉章博議員
須藤量久議員
黒部米三議員
4面 公明ひらつか
鈴木晴男議員
秋澤雅久議員
伊東尚美議員
5面 湘南フォーラム
出村 光議員
小泉春雄議員
6面 平塚創生会
柏木 徹議員
金子修一議員
6・7面 日本共産党
平塚市議会議員団
渡辺敏光議員
松本敏子議員
7面 無所属
江口友子議員
府川 勝議員
端 文昭議員
常任委員会の審査概要
3・5面
議案審議の結果
8面